

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成26年2月6日 (2014.2.6)

【公開番号】特開2012-133085(P2012-133085A)

【公開日】平成24年7月12日 (2012.7.12)

【年通号数】公開・登録公報2012-027

【出願番号】特願2010-284321(P2010-284321)

【国際特許分類】

G 0 9 G 5/377 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 5/93 (2006.01)

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

G 0 3 B 17/02 (2006.01)

G 0 3 B 17/18 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

G 0 9 G 5/36 (2006.01)

G 0 9 G 5/34 (2006.01)

G 0 9 G 5/00 (2006.01)

G 0 9 G 5/38 (2006.01)

【 F I 】

G 0 9 G 5/36 5 2 0 M

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 5/93 Z

H 0 4 N 5/91 J

G 0 3 B 17/02

G 0 3 B 17/18 Z

G 0 9 G 3/20 6 6 0 C

G 0 9 G 5/36 5 2 0 F

G 0 9 G 5/34 A

G 0 9 G 5/00 5 5 0 C

G 0 9 G 3/20 6 9 1 D

G 0 9 G 3/20 6 5 0 Z

G 0 9 G 3/20 6 6 0 E

G 0 9 G 5/38 A

G 0 9 G 5/00 5 1 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年12月11日 (2013.12.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 0 】

撮像素子 1 2 は、例えば、CCD(Charge Coupled Device)や、CMOS(Complementary Metal Oxide Semiconductor)イメージャ等で構成され、レンズ部 1 1 からの光を光電変換し、その結果得られるアナログの画像信号を、アナログ信号処理部 1 3 に供給する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 7 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 7 4 】

さらに、表示制御部 5 3 は、入力検出部 5 1 からの操作情報に応じて、拡大画像生成部 5 2 からの一部拡大画像を、デジタル信号処理部 1 5 を介して、入出力パネル 1 8 (の表示部 1 7) に表示する表示制御を行う。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 1 2 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 1 2 1 】

この場合、図 3 の表示制御装置では、拡大画像生成部 5 2 は、入力検出部 5 1 からの操作情報から、指示点 P の x 座標 X を認識し、全体表示がされた表示対象画像としてのパノラマ画像のうちの、x 座標が、 $X-a \times H/m$ から $X+a \times H/m$ までの範囲を、一部拡大画像に拡大する一部画像として、その一部拡大画像を、横 (長手方向) \times 縦 (短手方向) が $2a \times m$ のサイズの一部拡大画像に拡大する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 1 3 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 1 3 3 】

なお、上述したように、拡大画像生成部 5 2 は、入力検出部 5 1 からの操作情報から、指示点 P の x 座標 X を認識し、全体表示がされた表示対象画像としてのパノラマ画像のうちの、x 座標が、 $X-a \times H/m$ から $X+a \times H/m$ までの範囲を、一部拡大画像に拡大する一部画像として、その一部拡大画像を、 $2a \times m$ のサイズの一部拡大画像に拡大するが、この場合、指示点 P の x 座標 X が、 $a \times H/m$ より小さいときや、 $n-a \times H/m$ より大きいときに、一部画像となる x 座標が $X-a \times H/m$ から $X+a \times H/m$ までの範囲が、全体表示がされた表示対象画像としてのパノラマ画像の左側や右側にはみ出す。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 1 8 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 1 8 0 】

表示画面への近接を、一部拡大画像を表示するトリガとして採用し、表示画面へのタッチを、スクロール表示を行うトリガとして採用する場合には、表示制御部 5 3 (図 3) において、スクロールは、上述のように、調整後画像の先頭から開始することができる他、タッチがされた位置から開始することができる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 2 0 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 2 0 4 】

1 1 レンズ部, 1 2 撮像素子, 1 3 アナログ信号処理部, 1 4 A/D変換部, 1 5 デジタル信号処理部, 1 6 入力部, 1 7 表示部, 1 8 入出力パネル, 1 9 記録デバイス, 2 0 アクチュエータ, 2 1 モータドライブ,

2 2 TG , 2 3 CPU , 2 4 操作部 , 2 5 EEPROM , 2 6 プログラムROM ,
2 7 RAM , 3 1 レンズカバー , 3 2 AFイルミネータ , 3 3 電源ボタン ,
3 4 再生ボタン , 3 5 シャッターボタン , 3 6 ズームレバー , 5 1 入力検出
部 , 5 2 拡大画像生成部 , 5 3 表示制御部